

# 未来創造委員会事業計画（案）

未来創造委員会 委員長 海老原朋子

現在の子供達は、今後、AI技術の進展とともに劇的に加速するIT社会の中を生きていくことになります。その社会を生き抜く子供達には、これまで必要とされてきた能力に加え、創造力などのIQや偏差値などの数値では測れない能力が求められており、子供達はこれからその能力を身につけていく必要があります。また、子供達はその能力を身につけるには、子供達を育む環境が何より大切であり、その環境を整備する必要があります。

まず、子供に一番身近に関わる保護者や地域の大人達の子供に対する今までの認識を変化させるため、子供達を取り巻く社会環境やそこで求められる能力が何かを学ぶ機会を提供することで、保護者や地域の大人達が子供達にこれから必要とされる能力とは何かを理解してもらいます。そして、子供達がこれからの時代に求められる能力を身につけ、その子自身が持っている能力を発揮することができる環境を整備するために、保護者や地域の大人達に子供の年齢に応じた発達過程や関わり方を学ぶ機会を提供することで、大人達に家庭で学びを実践してもらいます。さらに、新時代に求められる能力の一つである創造力を子供達に養ってもらうために、第35回芳賀教育美術展を開催し、子供達が創造力を自由に発揮できる場を提供することで、子供達の自由な発想と表現力を高めます。また、子供の創造力の重要性を地域社会全体が理解するために、芳賀教育美術展ではWEB等を積極的に活用し、美術作品に込められた子供達の創造力を地域全体に発信することで、県東地域に根付く「創造美育」の文化を地域全体に浸透させ、世代を超え地域全体で共有してもらいます。

地域の大人達が子供達を信じ、子供達の創造活動を確信をもって後押しする環境を醸成し、子供が大人の概念に縛られずのびのびと本来の個性や創造力を発揮できる風土を作り、地域住民全てがしなやかな感性と創造力で、県東地域の夢あふれる輝く未来を創造します。

## <事業方針>

1. 子どもの生き抜く力を育む環境の醸成
2. 第35回芳賀教育美術展の開催
3. 可能性を高める機会の創造
4. 事業で魅せる会員拡大
5. 全国大会とちぎ宇都宮大会の成功に向けて協力